

(様式3)

## 令和4年度 指定管理業務の評価表

### 1 施設概要

施設名	山田奉行所記念館	所在地	伊勢市御園町上條1602
指定管理者名	山田奉行所記念館友の会	指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日まで
設置目的	山田奉行所に関する資料を収集、保存、展示して、地域文化の振興に寄与する		
業務内容	山田奉行所に関する資料を収集、保存、展示して、地域文化の振興に寄与する 入館者に対する説明、指導及び助言に関すること 地域住民の福祉、文化等の向上に関すること 記念館の利用の許可に関すること 記念館の維持、管理に関すること 以上のほか、記念館の管理に関する事務のうち、市長のみの権限に属する事務を除く業務		
施設概要	敷地面積:2,580㎡、建築面積:356㎡ 施設内容:木造平屋建(母屋、長屋門)鉄骨平屋建(弓道施設) 事務室、展示室、弓道施設		
職員体制	会長1名、運営委員長1名、運営委員3名、監事2名、協力委員7名		
施設所管課名	文化政策課		

### 2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	比較(C-B)	
事業 収支	収入	指定管理料	3,209,000	3,275,000	3,275,000	0
		利用料金	20,680	31,630	50,700	19,070
		減収補填金	3,375	0	7,990	7,990
		その他	6	135	309	174
		計(a)	3,233,061	3,306,765	3,333,999	27,234
	支出	人件費	2,002,900	2,053,400	2,152,460	99,060
		管理運営費	981,393	989,908	1,010,009	20,101
		その他	0	0	0	0
		計(b)	2,984,293	3,043,308	3,162,469	119,161
	収支差引額(a)-(b)		248,768	263,457	171,530	△ 91,927

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	貸室利用者に増加傾向が見られる。
----------------------------------	------------------

### 3 評価 (様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
コロナ禍による人々の出足も回復しつつあり、県外からの入館者数が増加した。また、茶会への貸室利用が実現し、入館者数の増加につながった。今後も、利用者の声を聞きながら、適切な貸室は増加させたい。	・施設の管理運営と維持管理は、適正に行われていた。 ・コロナ禍のため実施できなかったが、施設が津波災害の浸水区域内にあるため、津波災害を想定した訓練を実施いただきたい。なお、その際には地元自治会等との連携も図って欲しい。 ・コロナ禍ではあったが、令和3年度よりも来館者数は回復している。御園町にある唯一の文化施設であるため、引き続き、来館者増に繋がる取り組みに努めて欲しい。 ・今後も様々な取り組みを継続し、市民の文化芸術活動のさらなる活性化に寄与いただきたい。また、効果的、効率的な管理運営に努め、各団体や行政との連携を密に図りながら、より質の高いサービスを提供できるよう期待したい。

(様式4)

## 指定管理業務の項目別評価表

施設名

山田奉行所記念館

評価項目		評価				
		指定管理者		市		
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由	
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針を理解していたか。	A	入館者や地域の人々の様子から	A	運営業務の基本方針等を十分に理解している。
	②施設設置目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設の設置目的は達成されたか。	A	入館者に良い反応が多い。	A	設置目的や管理に関する基本的な考え方をもとに、館の管理運営が行われている。
	③利用者数	利用者数は当初の目標を達成したか。	B	コロナ禍の関係もあり、目標を達成できなかった。	A	コロナ禍により集客を図れなかったため、目標数に達しなかった。引き続き、利用者増につながる取り組みに努めてほしい。
	④運営状況	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の運営が行われたか。	A	適正に運営できた。	A	供用日数・供用時間ともに、事業計画どおり適正な運営が行われていた。また、新型コロナウイルス感染防止のため、消毒液・検温機の設置、利用者名簿の作成等の対策を徹底した施設運営が行われた。
	⑤職員の配置状況・勤務実績	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制(作業責任者・業務担当者)は明確になっていたか。	A	特に問題なし	A	当番表をつくり、順調に業務を行っていた。
	⑥意思疎通	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	A	行われた	A	月1回以上の情報交換が行われ、十分な連絡調整がなされた。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	A	整備保管に努めた	A	各種帳簿等については、適正に整備・保管されている。
	⑧地域の振興	地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図れていたか。	B	コロナ禍の関係もあり、目標を達成できなかった。	A	コロナ禍のため、大人数での交流は控える必要があった。引き続き、地域住民との交流に努めて欲しい。
	⑨使用許可等	使用許可等申請が適正に行なわれていたか。	A	行われた	A	使用許可等の申請の取り扱いは、適正に行われていた。
	⑩利用料金等の徴収状況	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。	A	適正に行われた。	A	帳簿等が作成され、適正に行われた。
	⑪個人情報	個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。	A	規則どおり	A	個人情報に係る書類は、適正に管理されている。
	⑫法令遵守	関係法令を遵守していたか。	A	遵守して運営した	A	法令違反は見受けられなかった。

(様式4)

## 指定管理業務の項目別評価表

施設名

山田奉行所記念館

評価項目		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	A	夏休みに特別展示を行った。	A	特別展を開催し、入館者増加の取り組みに努めた。
	②利用者の平等な利用	A	適切に行っている。	A	来館者に対し丁寧な展示説明を行うなど、対応サービスについては利用者からの評価も高い。
	③適切な情報提供	A	来館者と質疑を行っている。	A	企画展開催時には、「広報いせ」やマスコミ等を活用し、情報提供を行っている。
	④非常時・緊急時の対応	A	市の指導を守っている。	A	コロナ禍のため実施できなかったが、津波災害の浸水域内に施設があることを踏まえ、様々な非常時を想定した訓練の実施に努められたい。
	⑤苦情解決体制及び対応	A	苦情はなかった。	A	管理運営に関する大きな苦情は無かった。
	⑥自主事業	A	夏休み中に特別展などを行った。	A	企画展や子どもを対象とした夏休み文化歴史イベント等を開催している。引き続き、地域住民が交流できるような利用者増につながる取り組みに努めてほしい。
	⑦事業の評価	A	常に反省に努めている。	A	特別展等の開催中に来場者から聞き取り等をし、事業評価を行っている。今後も来館者や施設利用者の意見等を事業運営の参考としてほしい。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	A	花壇づくりなど良好な環境維持に努めている。	A	敷地内の美観保持、定期的な点検・確認が行われている。
	②備品等の管理	B	収集資料の整理に追われている。	A	保管資料は、適切に管理されている。また、設備等についても適正に管理されている。
	③修繕業務	A	常に小修繕を心掛けている。	A	修繕が必要な案件については、適切に報告がなされた。また、軽微な修繕については、従事者により修繕するなど経費節減に努めている。
	④清掃業務	A	きちんと行っている。	A	日頃から適切に清掃、美観保持に努めている。
	⑤防犯体制	A	イセットに依頼、問題はない。	A	鍵の管理は適正に行われており、防犯に関するトラブルは発生しなかった。